

# 鮭から見える

食べるだけじゃ  
もったいないじゃない！

## — 第2回 — いわての海

身近だけれど意外に知らない「鮭」のあれこれを学ぶ全5回の連続講座です。第2回目のテーマは、、、

### 三陸沿岸地域で獲られたサケの行方

サケは昔から、沿岸地域にとって非常に経済性の高い水産物でした。しかし、非常に高い経済性を持っていたがゆえに、積極的に外部に移出されてきた歴史もあります。連続講座の第2回目は、近世から近代のサケの流通に焦点を当て、その背景にあった文化などについてお話しいたします。



【講師】

よしむら けんじ  
吉村 健司 氏

東京大学大気海洋研究所  
沿岸海洋社会学分野  
特任研究員

#### 開催日

2019年12月7日(土)

13時30分～14時30分

#### 定員

60名<受講無料>

#### 集合場所

岩手県立図書館 3階入口

(※開始15分前より会場にご案内いたします)

#### 申込受付

11月1日(金)より

・カウンター、またはお電話で

・電話：019-606-1730

#### 【企画協力】

海と希望の学校 in 三陸 盛岡分校、東京大学大気海洋研究所 国際沿岸海洋研究センター

#### 【後援】

岩手日報社、岩手県農林水産部水産振興課、エフエム岩手、盛岡市

# 鮭から見える

食べるだけじゃなく、  
もったいないじゃない！

## いわての海

豊かな漁場に恵まれた岩手県沿岸部では、沿岸漁業や地形を活かした養殖業が盛んに行われています。中でも「鮭」は岩手県にとって重要な産物で、漁獲量は北海道に次ぎ全国第2位、日常生活においても旬になると“秋味”の名称とともによく目にします。春先には稚魚の放流がニュースで採り上げられ、県のシンボル魚が「南部さけ」となっていることから、居住地が沿岸であると内陸であることを問わず、県民一般にとって親しみ深い魚であると言えます。

しかし一方で、鮭について学ぶ機会はそれほど多くなく、その生態や歴史的、文化的な背景などについて知る人は、それほど多くないのではないのでしょうか？

この講座は、川と海とを生活圏とし、わたしたちにとって身近な魚である「鮭」をテーマに、“身近だけれど意外に知らない「鮭」のあれこれ”を学ぶ連続講座です。

この機会にぜひ、鮭について一緒に学びましょう！

第3回目：2020年1月18日（土）開催

【テーマ】又兵衛祭りをめぐる民俗　　《申込受付開始：12月1日（日）より》

第4回目：2020年2月29日（土）開催

【テーマ】東北におけるサケ漁具　　《申込受付開始：1月10日（金）より》

第5回目：2020年3月7日（土）開催

【テーマ】「さけの赤ちゃん放流会」の27年　　《申込受付開始：2月1日（土）より》